

日本庭園学会ニュース

The Academic Society of Japanese Garden News

NO. 72
平成24年

案内 平成24年度関西大会

発行 日本庭園学会(会長 鈴木 誠)
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-20-1
(有)造園会館気付
TEL(03)-3462-2850 FAX 03-3464-8465
<http://jgarden1992.jp/>

平成24年度 関西大会 スケジュール

平成24年11月10日(土)

会場：龍谷大学大宮キャンパス

南校舎203教室(京都駅から徒歩約10分)

【研究発表会・シンポジウム】

9:00 受付開始
9:30 シンポジウム等 開始
12:05 シンポジウム 終了
12:05-13:30 昼食(理事会)
13:30 研究発表会 開始
16:30 研究発表会 終了
17:00 情報交換会(京都駅周辺)

平成24年11月11日(日)

会場：京都市・岡崎・南禅寺界限

【現地検討会】

9:45 受付開始(無鄰庵/京都市左京区)
10:00 現地検討会 開始
12:30 昼食



名勝 無鄰庵庭園(現地検討会集合場所)

13:30 現地検討会再開
15:30 現地検討会終了
15:35 閉会(京都市美術館東庭)

※現地解散

最寄り駅：市バス「京都会館美術館前駅」
市営地下鉄東西線「東山駅」

■会費(2日間)

学会員(一般)：2,000円(資料代1,500円を含みます)

非会員：4,000円(資料代1,500円を含みます)

※学生は、会員の場合1,500円、非会員の場合は3,000円とします(ともに資料代を含みます)。

※大会参加費については、1日のみの参加でも上記金額を徴収します。

情報交換会(11/10)：4,500円(私費による参加を原則といたします)

■問い合わせ 仲 隆裕(日本庭園学会関西支部)

FAX：(075)791-9342 メール：今江秀史 <mukq95755@hera.eonet.ne.jp>

(お問い合わせは、極力、FAXにてお願いいたします。)

1日目 シンポジウム・研究発表会 発表要旨

- 9:00 受付開始 (南校舎 203 教室前)
- 9:30-9:35 開会挨拶
会長 鈴木 誠
- 9:35-9:40 大会プログラム等説明
関西大会運営担当 仲隆裕

シンポジウム

(9:40-10:20)

基調講演

- 京都の岡崎・南禅寺界限の庭 (仮題)
矢ヶ崎善太郎 (京都工芸繊維大学 准教授)
(10:20-10:50)

話題提供 1

- 岡崎・南禅寺界限における庭の所有者の変遷 (仮題)
杉田そらん (京都大学大学院)
(10:50-11:20)

話題提供 2

- 所有者側からみた岡崎・南禅寺界限の庭 (仮題)
武藤夕佳里 (並河靖之七宝記念館)
(11:20-12:05)

パネルディスカッション

- 群として存在する庭の調査と保存管理の両立
司会進行: 今江秀史 (京都市文化財保護課)
(12:05-13:30)

昼食 (総会)

研究発表会

(13:30-14:00)

1. 今後庭園鑑賞に関わりを持ちそうな「見る」ことの意味の考察

岡島 直方 (南九州大学)

概要: 庭園を鑑賞する行為にとって「見る」という行為は欠かすことができない。我々は、「見る」という行為からはじめ、次に「記録する」という行為を行い、他者に「伝える」という行為にいたる。ところが、「記録する」「伝える」という行為に対してはある種の制限が

かかるようになってきている。そこから「見る」という行為そのものにも疑問が投げかけられる事態が生じているのではないかと考えられる。本発表ではこのあたりの事情について取り扱う。

(14:00~14:30)

2. 名勝阿波国分寺庭園の「天生橋」石組について

西 桂 (名勝阿波国分寺庭園保存整備検討委員会委員)
佐藤玄由 (宗教法人阿波国分寺住職)

概要: 日本庭園に於ける石組手法のひとつに洞窟石組がある。阿波国分寺庭園は類稀なる石組や庭園意匠で構成されている。その中で最も特徴的なのは洞窟石組と言われてきたが、意匠上洞窟石組とは考え難いものであり、中国各地に見られる「天生橋」と称される景観をモチーフにしたものと考えられる。また、阿波国分寺庭園の雄大な庭園構想は、作者が中国思想や中国景観に求めたものであることが分かってきた。それらを資料に基づき考察する。

(14:30-15:00)

3. 西翁院淀看席露地の変遷と庭園手法についての一見解～資料の再検討と、実地調査による庭園手法の再分析をもとにして～

丸岡喜市

(丸岡樹仙堂代表、金沢美術工芸大学非常勤講師)

江戸時代初期の大茶人・藤村庸軒の遺構のひとつである西翁院淀看席は、成立当初より幾度の荒廃と改修を重ねて今日の姿に至っている。しかしながら、その経緯については不明な点が多く、現在においても、その詳細は必ずしも明らかになっていない。本研究では、改めて、資料の再検討と、実地調査による庭園手法の再分析を実施し、その両方の観点からの照査整理によって、本庭の変遷と庭園手法における幾つかの問題点に対して一つの見解を述べる。

(15:00-15:10)

休憩

(15:10-15:40)

4. 旧中西家住宅 (吹田市文人墨客迎賓館) の庭園と西本願寺滴翠園

仲 隆裕 (京都造形芸術大学)

中西家は天保年間、旧淀藩領の大庄屋をつとめた。主屋南方前面につくられた庭園は約2mの深さを持つ方形に近い枯池であり、降り井戸から始まる枯流れが連結するという特異な姿である。家相図や古写真を検討した結果、明治33年以前の作庭であると推定されるが、この庭園は離れ座敷の枯池や露地との連続性を有していることから、離れ座敷が建立された天保年間にさかのぼる可能性もある。これら庭園の配置や意匠は、西本願寺滴翠園の堯花亭露地から醒眠泉・西池にいたる庭園との類似が指摘され、西本願寺の門徒であった中西家が滴翠園をモデルに造営したものと推察される。

(15:40-16:10)

5. 文化財庭園の価値の付与と保存管理の実務との隔絶

今江秀史（京都市文化財保護課）

行政によって文化財に指定・登録された庭園は、文化財審議会等における学術的な見解に基づいて価値が付与されている。文化財価値の証明に伴って作成される指定説明や、その後の保存管理等に伴って作成される報告書は、学術的な記述に基づいている。しかし保存管理の実務者は必ずしもそうした記述手法に精通しているわけではないし、指定等より庭園の利用・機能、保存管理の歴

史が先行していることを前提しなければ、文化財価値の持続を可能とする保存管理の実施は困難である。そうした文化財庭園の価値の付与と保存管理の実務とが隔絶している現状を浮き彫りにする。

(16:10-16:40)

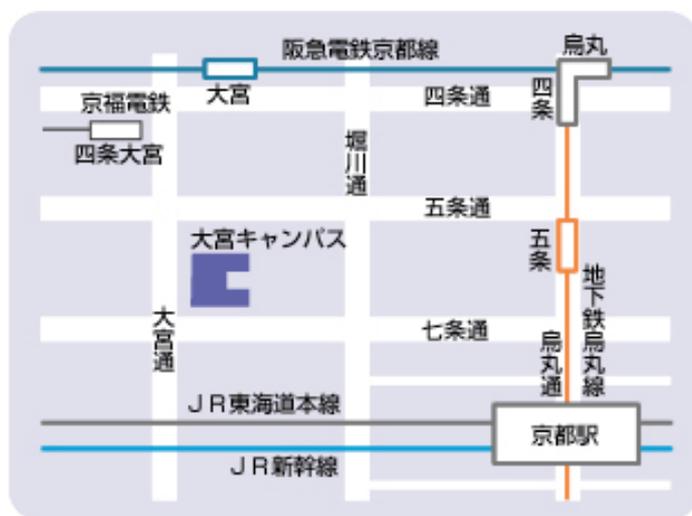
6. アンドレ・ル・ノートルによる宮苑に対する設計意図の考察

杉尾伸太郎（株式会社ブレック研究所）

アンドレ・ル・ノートルはパリの近郊にヴェルサイユを始め多くの宮苑を設計した。それらはそれぞれ魅力ある個性を持った庭園であるが、それらに共有される重要な設計意図があったものと考えられる。その本質の一つは施主の安全、安心に関わるものであり、我が国の植民地に於いて近年の都市に於ける住宅の敷地計画でも同じ発想が見られる事は興味深い。

16:40-16:50 終了挨拶

17:30-19:30 情報交換会（京都市内周辺）



【シンポジウム・研究発表会 会場案内】

- (1) JR 東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分（市バス約3分）
- (2) 京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
- (3) 阪急京都本線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分（市バス約5分）

※堀河通側（西本願寺境内東南角付近）から入場されると近道です。

2日目 現地検討会 見学先

1. 名勝無鄰庵庭園（主屋の二階で見学と座学）
2. 京都市指定名勝並河家庭園
3. 琵琶湖疏水記念館とインクライン
4. 満願寺（通常非公開）
5. 京都市指定名勝白河院庭園
6. 京都市美術館東庭

昼食

※見学先は追加・変更される可能性があります。

講演会の案内

史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業

国指定記念講演会

名勝 朽木池の沢庭園

日時：平成24年11月18日（日）
午後1時25分～午後4時

◆会場：朽木公民館 大ホール
滋賀県高島市朽木市場792番地
(電話0740-38-2324)
JR 湖西線 安曇川駅下車 江若バス朽木線
朽木学校前バス停下車すぐ

◆定員：250人（先着順）
◆参加費：500円（資料代等）

朽木池の沢庭園は、池を中心に造られた鎌倉時代初期の庭園遺跡です。岩盤を利用して造られた荒磯風石組や池に浮かぶ中島、流れに沿って広がる洲浜状の玉石敷や遣水状の流れなど、造園当初の庭園意匠を良好に残す貴重な庭園跡であることから、本年1月に国の名勝に指定されました。

講演会では、4カ年にわたる発掘調査の紹介と、名勝朽木池の沢庭園の歴史的重要性に迫ります。

【日程】

開場	午後0時45分
開会あいさつ	午後1時25分～
調査報告	午後1時30分～
「朽木池の沢庭園の発掘調査について」	
記念講演	午後2時～
「朽木池の沢庭園の庭園史における位置づけと指定の意義」 尼崎博正氏（京都造形芸術大学 教授）	
基調講演	午後3時15分～
「朽木池の沢庭園にみる祈りの造形」 大沼芳幸氏（安土城考古博物館 副館長）	



※庭園の現地見学会を、同日午前10時より開催！定員50人。参加希望の方は併せてお申し込み下さい。

【お申し込み方法】

電話、FAXまたはEメールでお申し込みください。（9月20日より受付開始。定員になり次第締め切り）
高島市教育委員会 文化財課 電話 0740-32-4467 FAX 0740-32-3568
Eメール bunkazai@city.takashima.shiga.jp

【会費納入のお願い】

平成24年度の会費納入のお願いを全会員に送付しております。納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願い申し上げます。

日本庭園学会広報委員会

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学日本庭園研究センター 気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342